



社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
かわにしファミリーサポートセンター

〒666-0017

川西市火打1丁目12番16号

キセラ川西プラザ 福祉棟1階

TEL 072 (740) 6800 fax 072 (759) 5203

mail famisapo@k-shakyo.or.jp

HP <http://www.k-shakyo.or.jp/fami/>



安全対策 マニュアル

～安全にサポートをしていただくために～

事故・病気など
緊急対応時

《保存版》



緊急の時は！！

「119」番へ電話！

場所・容態・年齢・性別・連絡先
を伝えましょう

かわにしファミリーサポートセンター

～緊急時の対応について～

事故発生

保存版

社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
かわにしファミリーサポートセンター
電話番号：072 (740) 6800
FAX：072 (759) 5203
受付時間：平日9時から17時

病気・ケガ

子どもの様子を確認

保護者電話番号

事故

救急車119

警察110

平日

ファミリーサポートセンター
平日9時～17時

<救急隊員への連絡事項>
・救急です
・場所（住所や目標物）
・誰がどうした
・自分の氏名・電話番号等

<110番で聞かれること>
・事故か事件か
・ケガがあるかないか
（あればどのような状態か）
・救急車の手配が必要か
・相手がいるか
・自分の名前・電話番号

川西市役所
守衛室
072(740)1111

<守衛室への連絡事項>
・ファミサポの会員であること
・ご自分の氏名
・折り返す際の連絡先
・どのような緊急事案か

<依頼会員への連絡事項>
・事故の状況・ケガの状態
・どのような処置をしたか
・救急車を呼んだか

<センターへの連絡事項>
・自分の会員番号・名前
・子どもの名前
・ケガをした場所
・事故の状況
・ケガの状態
・どのような処置をしたか
・救急車を呼んだか
・保護者への連絡の有無等

<メモ>

些細な事故でも必ず警察を呼びましょう。ファミリーサポートセンターにも連絡してください。

はじめに

安全対策マニュアルの活用について

会員同士が安心・安全にサポートを依頼・協力できることや万が一に備えていただくことを目的に、安全対策マニュアルを作成しました。

サポートをされる時は、再度、ご一読いただき、安全チェックリストのご活用をお願いいたします。

補償保険

活動中の事故について

センターでは、活動中の事故に備えて補償保険に加入し、サポート中の子ども、協力会員のケガに対応しています。

また、車を利用する際、会員のケガは補償されますが、事故の相手方のケガの補償や車などの物損の補償、協力会員の車の修理の補償も適用されません。協力会員が加入している自動車保険での対応となります。



《安全チェックリスト》

大人にとっては何でもないことでも、子どもにとっては危険なこととなり得ます。事前打合せで依頼会員の子どもが訪問する前、また活動の前には、毎回安全チェックリストにそって家の中を点検し、常に安全な環境をつくりましょう。

1. 階段やベランダ、段差のある所に、子どもが落ちないように対策がしてありますか？ また、踏み台になるようなものを片付けましたか？	子どもは高い所が大好きです。窓際、ベランダなどには、台になる物を置かないようにしましょう。
2. 家具の上など高い所に置いてある物の、落下の心配はありませんか？	
3. 薬・たばこ・マッチ・化粧品・洗剤・硬貨・刃物・電池などを子どもの手の届く所に置いていませんか？	子どもは何でも口にいられたがります。誤飲を防ぎましょう。
4. ビニール袋やラップなどを子どもの手の届く所に置いていませんか？	引き出しの中にある紐、ハサミ、カッターなどにも注意してください。
5. 家具の引き出しなどが、簡単に開くようになっていませんか？	
6. ストープやファンヒーターは、火傷をしないようにしてありますか？	子どもは思わぬ事で、火傷やケガをします。置き場所や管理の仕方に注意しましょう。
7. 熱いお茶、ポット、鍋、アイロン、扇風機などを子どもの手の届く所に置いていませんか？	
8. 硬貨、ピアスなどの小物、鉛玉、ピーナッツなど子どもが飲み込んでしまうものを手の届かないところに置いてありますか？	子どもは小さなものは、すぐに口に持っていきます。誤飲、誤嚥に気をつけましょう。
9. 子どもが、浴室やトイレなどへ入り込む心配はありませんか？	子どもは水が大好きです。水の汲み置きには注意しましょう。
10. 室内の換気が適切に行えるようになっていませんか？	時間を決めて換気をしましょう。
11. 火災や地震の際の避難方法を考えていますか？	避難経路の再確認をしましょう。
12. 119番を呼ぶ際に必要となる情報（活動場所の住所、目印となる建物）について、把握していますか？	とっさの時にはなかなか出ないものです。普段から、サポート場所の確認はしておきましょう。

病児預かりについて

ファミサポでは、病児・病後児のサポート依頼は受けることができません。



子どものケガ

体調が悪くなった場合



1

保護者に連絡のうえ、状況を説明し対応を相談する。
原則として保護者に早急に迎えに来てもらいましょう。



2

保護者がすぐに対応できない、緊急性が高いと判断される場合は、
病院へ連れて行く又は**緊急時は救急車**を呼びましょう。



3

落ち着いてからで結構ですのでセンターへもご連絡ください。

072-740-6800 (平日9時~17時)

famisapo@k-shakyo.or.jp

閉所時は留守電（時間外）・メールで連絡しましょう。

家庭での応急手当

～急病・ケガの時～

熱が出たとき



- ・1回目の体温測定後、室温や衣服を適切に調整し、安静にした状態で、30分後にもう一度測ってみましょう。
- ・安静に寝かせましょう。
- ・寒がる時は暖かく、寒がらない時は厚着をしないようにしましょう。
- ・水分をこまめに与えましょう。一度に大量に飲ませるとおう吐してしまう場合があります。

嘔吐したとき



- ・顔を横に向け、吐いたもので窒息しないようにしましょう。
- ・おう吐や吐き気が治まれば、水分を少しずつ数回に分けて与えましょう。(牛乳・乳製品・炭酸飲料・柑橘系は避けましょう)

下痢をしたとき



- ・安静にしましょう。
- ・水分を少しずつ数回に分けて与えましょう。(冷たい飲み物や炭酸飲料、乳酸飲料は避けましょう)
- ・水分が十分に取れていれば、食事は頑張って食べる必要はありません。欲しがるときは消化のよいものにしましょう。(刺激の強い食べ物は避けましょう)

頭を打ったとき



- ・たんこぶが出来ている時は、冷やしたタオル等を当てると痛みが和らぎます。
- ・傷口から出血しているときの手当では、ガーゼで傷口が閉じるように圧迫し、安静にして様子を見ましょう。
- ・意識がない、吐く、けいれんしているなどの場合には、すぐに救急車を呼び、吐物による窒息を防ぐために顔を横に向けて、体を動かさないようにします。
- ・頭を打った場合には、遅れて症状が出る場合がありますので、安静にして1日～2日は注意深く観察しましょう。

やけどをしたとき



- ・できるだけ早く、冷たい清潔な水(水道の流水)で10分ほど冷やしましょう。水道やシャワーなどで水をあてにくい場合は、冷却ジェルシートや、氷をタオルでくるんだ物で冷やします。とにかくやけどした場所を冷やすのが先決です。

鼻血がでたとき



- ・子どもを抱っこするか座らせ、頭を少し前に曲げるような姿勢で、鼻をつまむように押さえる。または、綿球などを鼻に詰めてもよい。
- ・横になると、血が逆流し気分が悪くなることがあります。体を起こして処置してください。寝かさなさい。

熱中症になったとき



- ・めまい、たちくらみ、筋肉痛、こむら返り、大量の発汗あり、熱はない状態で水分が飲める。頭痛、吐き気もなく、全身状態が良い場合は様子を見ましょう。
- ・異常な高温があつて、意識がない、けいれんを起こしている場合は救急車を呼ぶ。頭痛、吐き気、水分が取れない場合は、病院に連れていきましょう。

誤飲をしたとき



いつ、何を、どのくらい飲んでしまったかを把握しましょう。

・「中毒110番」

大阪中毒110番
TEL: 072-727-2499
相談時間: 24時間365日対応

飲んでしまった化学薬品を薄め、粘膜への刺激を和らげるため水や牛乳を飲ませましょう。ただし、飲ませると悪化する可能性があるものもあるため下記の例に注意しましょう。

○	×
飲ませた方がよい物	飲ませると症状が悪化する可能性がある物
容器に「酸性」又は「アルカリ性」と書かれている製品 漂白剤・換気扇用洗浄剤など 界面活性剤を含んでいる製品 洗濯用洗剤・台所用洗剤・シャンプーン・石けんなど 石灰乾燥剤・除湿剤など	石油製品: 灯油・マニキュア・除光液 液体の殺虫剤など タバコ、タバコの吸い殻 防虫剤(しょうのう・ナフタレン・パラジクロルベンゼン)

食べ物が喉に入ってしまった場合、子どもの顔を下に向けうつぶせの姿勢で大人の腕や太ももの上にのせ、肩甲骨の間を叩いて吐かせます。



こんなときにはすぐに119番!!

こども (15歳以下)

顔

- ちびむのちが紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やせーせーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手・足

- 手足が硬直している



意識の障害

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出、顔色が悪くなった



やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた



生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※小学生以下の子どもで発熱等の症状がある場合は、速やかに発熱外来かかかりつけ医を受信しましょう。さらに、判断に迷った場合は、お近くの相談窓口にご相談ください。子ども医療電話相談(主に休日・夜間)は#8000、119番通報の相談は#7119をご利用いただけます。

救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。

あわてず、ゆっくりと教えてください。



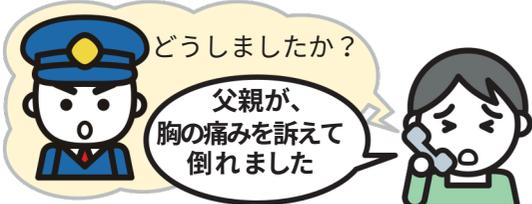
1 救急であることを伝える

119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。



2 救急車に来てほしい住所を伝える

住所は、必ず、市町村名から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。



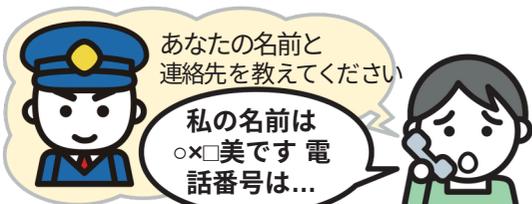
3 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。



4 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。



5 あなたのお名前と連絡先を伝える

あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で教えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。



役立つ情報

～急病・ケガの時～

〈休日・夜間の診療〉

◇阪神北広域こども急病センター

住所：伊丹市昆陽池2-10

TEL：072-770-9981(キューキューハイ)

【診療科目】

小児科(15才以下・中学生まで)

◇川西市救急病院の問い合わせ先

TEL：072-759-1234(テレホン案内)

〈休日・夜間の電話相談〉

◇阪神北広域こども急病センター

TEL：072-770-9988

◇兵庫県子ども医療電話相談

TEL：#8000、078-304-8899

(ハハキューキュー)

〈こどもの救急サイト〉

症状別チェックにできる「救急&予防」サイトです。

こどもの救急 kodomo-qq.jp

